

安井高田で

創業・事業承継

SUCCESSION

FOUNDING

AKIYAMA

しるし。

先輩の生の声を聞こう!

14人の創業ストーリー

受け継いだ人・託した人の
思い伝わる

2組の事業承継物語

知らないと損!

創業・事業承継で活用できる

補助金などの支援メニューをご紹介

創業後・事業承継後も安心サポート

商工会活用術

創業したい・事業承継したい

あなたへ

～安芸高田市で夢を形にしませんか?～

「自分でお店をやってみたい」

「自分で会社を作ってみたい」

そんな想いかられることはありませんか？

『創業』とは、希望に満ち溢れたワクワクする感情と不安な気持ちが混在するものです。

この冊子では、同じように不安を抱きながらも勇気を出してその第一歩を踏み出し、

イキイキと活躍する先輩の体験談を集めました。

また、近年課題となっている事業承継に成功した体験者の声もお届け。

地域に愛されてきた事業を、想いととも受け継いだ側、受け渡した側の両方からお話を聞きました。

創業・事業承継する上で必要だと感じたもの、あって良かったもの、失敗談などなど。

そのリアルな経験には、あなたが進む上で必要な『何か』がきっと隠れています。

不安な世の中だからこそ、あなたの力であなたの未来をつかみ取るために。

この一冊が力になりますように。



CONTENTS

- | | | | |
|----|-----------------------------|-------|-----------------------|
| 03 | 安芸高田市長、安芸高田市商工会長あいさつ | 13 | ペットフード専門店 元就工房／関岡伸哉さん |
| 04 | 8〇8cafe／山岡由佳さん | 14 | ジョニーベーグル／山縣正姫子さん |
| 05 | おくもと整体院／奥本政治さん | 15 | 介護タクシーBéat／山下慎也さん |
| 06 | ばあばの蔵かふえ／末田美穂さん | 16 | Auto up／土橋直人さん |
| 07 | OutdoorFun キャンプフィールド／須安道秀さん | 17 | okadasasa／佐々田直貴さん |
| 08 | エクラス／高杉聖さん | 18-19 | 創業支援SUPPORTメニュー |
| 09 | 滝ヶ谷養魚場／舛本隆介さん | 20-21 | 株式会社大前醤油本店 |
| 10 | てらじ鍼灸院／寺地保行さん | 22-23 | 株式会社佐々木電機 |
| 11 | 空と虹／船津絵美さん | 24-25 | 事業承継SUPPORTメニュー |
| 12 | ERMERA／マイア レオネル ダビッドさん | 26-27 | 商工会活用術 |

今、安芸高田市は困難に直面しています。少子高齢化が進み、人口減少が続く中、あらゆる面で活力が失われつつあります。だからこそ、このまちには新たな挑戦が必要です。

創業や事業承継によって、まちの活力が保たれます。何よりも困難に挑戦する姿そのものが、まちの魅力となります。次世代に向けて、これほど大事な取り組みはありません。

安芸高田市は活力と魅力を求めています。挑戦したい、挑戦できると思っていただけるよう様々な支援を用意し、みなさんをお待ちしています。そして、これからもみなさんが願いを叶える場所としてあり続けたいと考えています。

全ての可能性は人の意思から生まれます。意思こそが不可能を可能とする力の源です。心を重ね、力を合わせれば、きっと困難も乗り越えられます。まちのために、みなさん自身のためにぜひ挑んでください。

願いを叶えられる
場所であり続けたい！



安芸高田市市長
石丸伸二



夢の実現、事業継続を
全力でサポート！

安芸高田市商工会
会長 住吉峰男

安芸高田市商工会が一番大切に考えているのは、地域の経済活動の活性化とその持続性です。中でも、特に注力しているのが「創業」および「事業承継」のサポートです。

新たにビジネスを始める方々は、私たちの地域経済に新しい風を吹き込む存在です。その夢や情熱は、新しい価値や雇用を生み出し、地域の活性化に貢献します。また、長い歴史を持つ事業をしっかりと次世代に繋ぐ事業承継は、地域の経済基盤を守り、成果と伝統を未来へと伝える重要な役割を果たします。

商工会としては、これらの取り組みを全力でサポートし、創業者や後継者の方々が直面するさまざまな課題を共に乗り越えていけるよう助言や支援を続けて参ります。

本冊子は、これまで商工会がご支援させていただいた創業や事業承継の一部をご紹介します。みなさんの創業や事業承継のきっかけになることを期待しています。

地域の発展と繁栄のため、共に努力し、共に夢を追い続けましょう。

創業2017年

自分の得意分野を活かして

地域のニーズに応える店づくり

●808cafe (ハチマルハチカフェ)

山岡 由佳さん

こんな事業です!



栄養士の資格を持つオーナーの山岡さんが作るランチやスイーツが楽しめるカフェ。食材は、地元産の新鮮なものをたっぷり使用。日替わりランチなどのフードメニューの他、自家製スイーツも揃う。市外はもちろん、地域の人も足しげく通うコミュニティースペース。

住所/安芸高田市吉田町常友1269-2

☎090-2806-5808

営業時間/9:00~16:00 定休日/土日曜

ホームページ/<https://www.808-cafe.com/>

ないものは自分で作ればいい
キャリアを活かしカフェを選択

結婚希望者に出会いの場を提供していた山岡さん。創業のきっかけは、出会いの場にふさわしい場所がなかったことでした。お見合いや婚活イベントをする場所は、「静かで人目につかない」「雰囲気がいい」「個室がある」など、様々な条件が必要。自身の趣味がカフェ巡りだったこと、栄養士の資格を持っていたこともあり、「お見合いもできる落ち着いたカフェ」を作ることを決めました。創業の際、最初に取り組んだのが情報収集。市の補助金を受けられることを知り、夢が現実へと進み始めます。補助金の交付が決まった頃、物件も見つかり具体的な店づくりがスタート。初期費用を抑えるために、電気や水道など、専門的な知識が必要なものの以外は、山岡さんとご主人、友人の3人で作り上げた思い入れのある店が完成しました。

これからご縁とご縁を繋ぎ
誰かの心が休まる場所に

年代を問わずに楽しんでもらえるようにと、メニューは栄養士の資格を活かして野菜をふんだんに使ったバランスの良い

これから創業する人へ



創業したいと思ったら、行政や商工会を訪れてみてください。支援や融資など必要な情報を知るうちに、ぼんやりとしていた道がはっきりとしていくのを感じられると思います。相談できる場所があることは、これから先のことを考えても心強いですよ。

いものを提供。小さなお子さんがいる家族も気軽に利用できる、小上りの半個室も設けました。オープンから6年が経ち、今では市内外から老若男女が訪れる人気店へと成長。また、コロナ禍で思うように営業ができなかった時には、菓子製造業の許可を取得し、スイーツの委託販売を開始しました。道の駅などで販売することで、カフェの販促ツールとしても活躍しファン層を広げています。「6年目を迎え、ここが『誰かにとって心の休まる場所』になってきたと感じられるようになりました」と山岡さんは微笑みます。



地道な努力でしか培えない

「絶対できる」という自信を胸に

● おくもと整体院

奥本 政治さん

こんな事業です!



肩こりや首こり、膝痛などの慢性的な痛みから、スポーツをする人のコンディショニング調整、小顔エステ、疲労回復まで、幅広いニーズに対応してくれる整体院。筋肉の深い部分(インナーマッスル)まで届く特殊な電気を流し、凝り固まった筋肉を緩めていくインパルス療法も受けられる。

住所/安芸高田市吉田町吉田3901-1 村田ビル1F

☎0826-42-1339

営業時間/9:00~21:00 定休日/火曜

ホームページ/<https://okumotomasa.jimdo.com>

**思い立ったことはとことん追求
40歳で国家資格を取得して独立**

奥本さんは、長年調理師として活躍してきた異色の経歴の持ち主。仕事柄、首と肩の痛みに悩まされ、病院や整体院に通ったものの思うような効果は得られなかったと言います。「それなら自分で治す!」と、37歳で柔道整復師の資格を取るための学校に入学。40歳で国家資格を得し、安佐南区の整体院で6年間経験を積みました。その間も様々な勉強会に参加し、インパルス療法士、筋整流法鍵引き師などの資格を取得。高校生まで過ごした安芸高田市に恩返しをしたいと、地元で整体院をオープンしました。

**地域の方の役に立っていると
感じられる毎日に幸せを実感**

創業すると決めたものの、何から取り掛かったらよいか分からなかった奥本さんは、市役所に紹介された商工会を訪問。創業に必要な書類や活用できる補助金などについて話を聞きました。「頼れるところがあって本当によかった。一人ではきつと創業できなかったと思う」と話します。その後も新聞の折り込みチラシやポスティングなどの広報活動、来店客の分析、補助金の申請など継続的なサポート

これから創業する人へ



お店を出せば、ベテランだろうが新人だろうが関係なく同じ土俵に立ちます。絶対できるという強い気持ちが必要です。コロナや災害など何があるか分からない世の中。その気持ちさえあれば、何にも変えられない充実感と達成感が待っています。

を受けました。一番の課題だった『集客』は、SNSを活用。インスタグラムをテーマにしたセミナーに参加するなど、積極的な情報発信を行ってきました。また、顧客との信頼関係を築くため、カルテには施術内容だけでなくその日話したことや小さな気づきなど、どんな細かいことでも記載。こうした地道な努力を続け、徐々に固定客が付くようになりました。「地域柄、高齢者が多く、藁をもすがる思いで来てくれる人も多い。頼りにされていると感じられることが一番の喜びです」と笑顔を見せてくれました。

創業2019年



やりたいことがはっきりした瞬間 転がるように進み始めた店づくり

● ばあばの蔵かふえ

末田 美穂さん

こんな事業です!



季節の野菜や果物を使った自家製ジェラート専門店。定番から青ネギ、唐辛子といった変わり種まで、季節ごとに約6種類が揃う。ベースとなるジェラートは牛乳、生クリーム、グラニュー糖のみ。素材の味を活かした素朴な味わいが人気。2022年にはキャンプ場「ばあばの森」もオープン。

住所/安芸高田市高宮町原田478

☎090-2802-2234

営業時間/9:00~17:00 定休日/木曜、第2、4水曜

ホームページ/<https://www.instagram.com/barbanokuracafe/>

**Uターンで故郷の魅力を再発見
地域の魅力を発信できる場所に**

広島市内からUターンし再び故郷の高宮町で暮らしはじめた末田さんは、きれいな空気や美味しい野菜、のどかな田園風景など、暮らしていた時には気づかなかった地域の魅力を改めて実感したと言います。その魅力をたくさんの人に伝えたいと思い、実家の蔵を改装したカフェをオープンしようと決めました。頭を悩ませたのは提供するメニュー。最初は旬の野菜を使ったランチなどを予定していましたが、起業補助金申請の最終日に急ぎょジェラート専門店へと方向転換。「料理を提供するカフェがどうしてもしっくりこなくて、やるなら好きなものがいい!と自分に正直になりました」と笑います。それからの末田さんは、近隣で人気のジェラート店に話を聞きに行ったり、ジェラートメーカーと打ち合わせをしたり、講習を受けたりとオープンに向けてさまざまな行動力を見せます。カフェのテーマはテレビ朝日で放送中の「人生の楽園」に取り上げられるようなお店。地域と連携しその魅力を伝えられるように、フレーバーはできる限り地元産や自家栽培のものを使ったメニュー開発に挑みました。

これから創業する人へ



誰とでも、できる限り対面のコミュニケーションを大切にしたいと思っています。SNSなど、人が簡単に繋がれる時代ですが、直接話さなければ伝わらない想いがあります。やりたいこと、感謝の気持ち、アイデア、何でも言葉にしてみてください。

**環境も一緒に楽しんでほしいと
隣にキャンプ場もオープン!**

オープンから4ヶ月後には、夢だった「人生の楽園」に出演。反響はすさまじく、連日多くのお客さんで賑わう人気店に。オープン後も製造方法や食材など、進化を続けながら唯一無二のジェラートを提供しています。人を喜ばすことが好きな末田さんは、カフェに隣接する土地にキャンプ場もオープン。「お客様の喜びの声を聞くことが私の元気の源。これからも、また帰ってきたくなるようなお店を目指したいです」と微笑みました。



30年間温めてきた運営ノウハウを
思いっきりカタチにできる場所

● OutdoorFun キャンプフィールド
須安 道秀さん

こんな事業です!



豊かな緑に包まれた場内に、3ヘクタールの湖と2本の沢が流れるロケーション抜群のキャンプ場。せせらぎと木漏れ日に癒される「せせらぎサイト」や湖畔すぐ側に設営できる「湖畔サイト」、キッチンやトイレを完備したコテージ、キャビンもあり幅広いニーズに応える。

住所/安芸高田市美土里町横田12244 ☎0826-59-2422
営業時間/9:00~17:00(予約・問い合わせ)
定休日/不定期あり(HPでチェック)
ホームページ/https://www.outdoorfun.jp

老朽化が進むキャンプ場を見て
夢が現実になることを確信

須安さんは、庄原市高野町にある「大鬼谷オートキャンプ場」に30年勤め、西日本最大級のキャンプ場へと生まれ変わらせられた手腕の持ち主。キャンプ場のレイアウト、集客のノウハウ、お客様を楽しませるテクニクなどそこで培った経験を活かして、いつか自分のキャンプ場を持ちたいと思っていました。須安さんが創業したこの場所は、もともと市が運営していた「ほととぎす遊園」というキャンプ場でしたが、廃止・譲渡が検討されていた施設のひとつ。「中国地方のキャンプ場を見て回った中で、以前から気になっていた場所でした。場内に湖や沢まである素晴らしいロケーションは創業後の光景がはっきりと浮かび、素晴らしいキャンプ場へ生まれ変わらせることができると確信しました」と話します。

自分の考えを考えた通りに実行
これこそが創業の醍醐味!

自身の経験を活かして、土地の整備や建物の修繕などは自らの手で行い、イメージをどんどん形にしていく須安さん。資金は市の起業補助金やコロナ関連の助成金等を活用しました。第2次キャンプ

これから創業する人へ



創業する前も創業してからも様々な出来事が起こりますが、常に「なぜだろう?」と疑問を持って進んでほしいと思います。全てのことには理由があって、そこを自分なりに突き詰めて考えていくことが、いろんな物事のヒントに繋がらずです。

ブームの到来や働き方の変化などで平日も稼働するなど、創業後は順調な滑り出し。「自分の考えたことをすべて実行できるのが創業のいいところ」と笑います。困難にぶち当たっても、それを困難に感じないのは、好きなことに全力で取り組んでいる証。「仕事と思ってやってないことが仕事になっているのも創業のいいところ」と付け加えました。須安さんが目指すのは価格に合ったサービスを提供できるクオリティの高いキャンプ場。先見性のある鋭い考察力がハード面にもソフト面にも活かされています。

創業2020年



アルバイト先の社長の一言が 自分自身を成長させるきっかけに

● エクラス

高杉 聖さん

こんな事業です!



製造業の工場や事務所などを定期的に清掃する「日常清掃」を中心に、個人宅の清掃やハウスクリーニングなどを幅広く担当。近年、清掃を外注する企業が増加傾向にあり、市外からの問い合わせも多い。今後はスタッフを採用するなどして、業務を拡大していく予定。

住所/安芸高田市吉田町高野76

☎080-2900-3779

営業時間/9:00~18:00 定休日/不定

ホームページ/なし

**大きな初期投資が必要な業種
制度や補助金で資金の不安を払拭**

清掃会社にアルバイトとして雇われ、主に製造業を営む企業の工場や事務所を定期的に清掃する「日常清掃」で長年経験を積んできた高杉さん。その働きぶりを認められ、勤めていた会社の社長から「今後も続けていくのなら、独立を視野に入れた方がいい」とアドバイスを受けました。清掃業はケルヒャー、ウエットバキューム、ポリッシャーといった業務用の清掃機器を多く使用するため、独立には資金が必要。また、その機器を保管する場所や運ぶための車も必要になります。商工会に相談したところ、市の起業補助金と日本政策金融公庫の融資を活用して資金を確保できることが分かり、創業に合わせて借りた自宅兼事務所の家賃の一部もサポートしてもらうことができました。「資金面の不安は制度でほぼ解消することができました」と振り返ります。

**人として、経営者として
成長できる喜びを実感**

高い技術と信頼があった高杉さんは創業時に見込み客もあり、経営自体にそれほど苦労しませんでした。大きな課題となったのが経理や税務関係。全く分か

これから創業する人へ



創業って分からないことだらけですよ。自力でリサーチしてもよく分かりません。行政や商工会など、頼れるものは全部頼って、まず何をすべきかを教えてもらうこと。創業に活かせる制度はしっかりと活用して、できるだけ負担なくスタートしてください。

らず、創業して2年間は商工会の職員と一緒に2人3脚で取り組みました」と話します。現在は業績が好調で税理士に委託できるようになりました。創業してからはさらに自分の行動や言動に責任を持つようになったといい、「信頼関係を築くためには誠意のある言葉と行動が大切。人間的にも成長していると実感しています」と自信をのぞかせます。また、創業してから経営者との交流も増え、刺激を受けながら経営者としての成長も感じているそうです。この「成長」の実感が、創業の魅力だと教えてくれました。



地域に愛される祖父の養魚場を 守りつつ、時代に合わせて進化

● 滝ヶ谷養魚場

舩本 隆介さん

こんな事業です！



江の川水系の源流に位置するヤマメの養殖場。敷地内には釣り堀があり、雪の深い冬季を除いてヤマメ釣りも楽しめる。2023年に水産製品製造業の許可を取得し、炭火焼きや燻製など、加工品の製造販売をスタート。「炊き込みご飯のもと」も間もなく完成予定で、商品の開発にも力を注ぐ。

住所 / 安芸高田市美土里町桑田188-2

☎0826-55-0758(要予約)

営業時間 / 10:30~15:00、土日曜・祝日9:00~17:00

定休日 / 不定休 ホームページ / なし

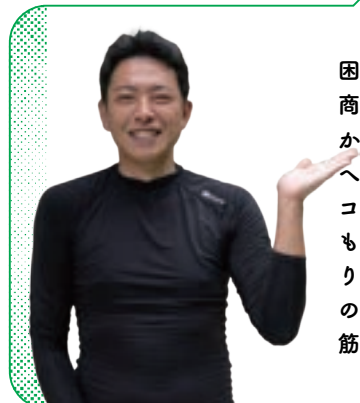
**コロナ禍の創業は波乱続き
それでもこの場所を守りたい！**

祖父が長年営んできた養魚場は、幼い頃から何度も訪れた馴染みの場所。江の川の源流に位置し、水がキレイで夏でも水温が20度程度に保たれることから、ヤマメの養殖に最適な場所とされています。祖父が高齢で事業を辞めようとしていることを知った舩本さんは、長年地域に愛されてきたヤマメがなくなってしまふのは忍びないと思い、事業を受け継ぐ形で創業を決意。一度なくしてしまえば、これ以上条件が整った環境で再開するのは難しいこと、取引先からも続けてほしいという声が届いていたことが大きな後押しになりました。創業前は近隣の飲食店への卸売のみでしたが、「素晴らしい環境で育ったヤマメの美味しさをもっと知ってほしい」と釣り堀をオープン。しかし、コロナ禍でのスタートとなり、その影響は1年以上経っても続きました。

**新しいコンテンツを追加し
今のニーズに合ったサービスを**

行き場のないヤマメをどうにかしたいと、まずはプレスリリースで現状を情報発信。ニュース番組に取り上げられると、大手スーパーから取引依頼があり、釣り

これから創業する人へ



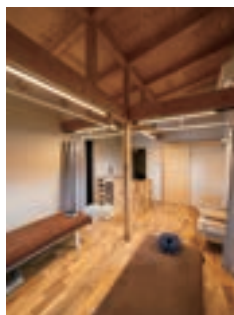
困ったことが起きた時には、商工会などの専門機関にしっかりと相談することが解決への一番の近道だと思います。コロナ禍での創業ということもあり、様々な壁にぶち当たりましたが、その都度こちらの想いを汲みながら最適な道筋と一緒に考えてくれました。

堀にも多くのお客さんが訪れました。ほっとしたのもつかの間。2022年にはヤマメの生育不良も発生。大変な時期を送る中、商工会の支援で事業再構築補助金の採択を受け、補助金で敷地内に加工場を新設しました。ヤマメを使った新商品の開発にも意欲的に取り組んでいます。経営革新計画の承認も受け、まさにこれから！というところ。釣り堀、加工品など様々な方法でヤマメを顧客に届ける術を見出していく舩本さん。深刻なアクシデントも前向きな思考で進化への足掛かりになりました。

土地柄も考慮して夢を軌道修正 幅広い世代と向き合える鍼灸院に

●てらじ鍼灸院 寺地 保行さん

こんな事業です！



針や灸、全体の施術が受けられる鍼灸院。無理な針治療はせず、利用者のニーズに合った施術が選択できる。症状や悩みを丁寧にヒヤリングし、一人ひとりに合った施術を提供。院内は木の温もりが伝わるスタイリッシュで開放的な空間。窓から望む美しい田園風景も見所のひとつ。

住所／安芸高田市甲田町下甲立261-9
☎0826-45-2988 営業時間／9:00～12:00、13:00～19:00
定休日／木曜、第2、4日曜
ホームページ／なし

一度は諦めた夢を追いかけて 30歳を前に鍼灸師の学校に入学

寺地さんは、小学2年生から高校3年生まで野球で汗を流したスポーツマン。現在も社会人選手として活躍する現役です。高校2年生の時に腰を痛めた際、初めてスポーツトレーナーという職を知り、将来の夢ができました。高校卒業後は先生の勧めで、夢を叶えるべく東京の整体院に就職。順調に腕を磨いていましたが、お兄さんが亡くなったため帰郷することになりました。その後は製造業、営業など様々な職種を経験。30歳を前に、「やっぱり人の体を治す仕事がしたい！」と、広島市内の学校に通い鍼灸師の資格を取得。卒業後に念願の鍼灸院をオープンした寺地さんは、「土地柄、スポーツに特化したものでなく、学生から年配の方まで幅広く利用していただける場所にしたいと思いました」と話します。

創業したから広がった 新しいコミュニティーを大切に

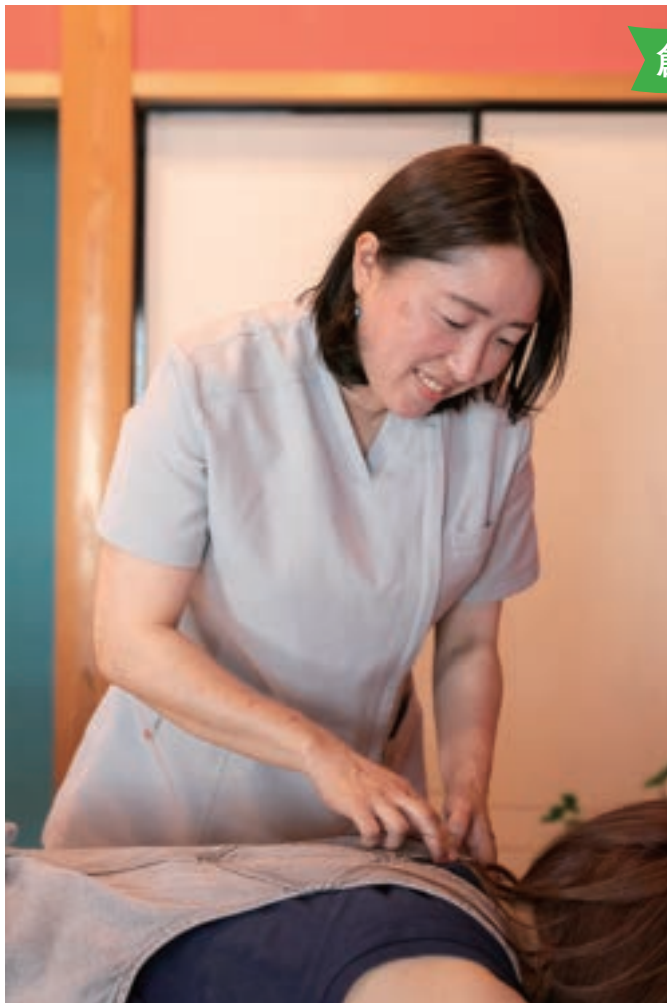
創業する際には市役所を訪れ、紹介された商工会で様々な説明やアドバイスを受けました。「制度のこと、補助金のこと、詳しく教えてもらえたので安心できました」と振り返ります。創業から2年が経

これから創業する人へ

今すぐではなくても、少しでも創業してみたいという気持ちがあるなら、商工会や市役所に話を聞きに行ったらいいと思います。制度のこと、経理のこと、税のこと、融資のこと、何でも丸々と教えてくれます。夢がぐっと現実近づきますよ。



ち、徐々に常連客もついてきました。「年配のお客様も多く、地域の方との新しい繋がりができることも刺激になっています。コロナ禍で希薄になってしまった地域のコミュニケーションが再び生まれる場所になったらいいですね」と寺地さん。「痛い箇所があると気持ちも落ち込みます。症状の改善とともに元氣も届けられるように、健康寿命を伸ばすお手伝いをしていきたい」と意気込みを語ってくれました。自身の経験を活かし、この地域で創業を予定している人のサポートにも一役買いたいと考えています。

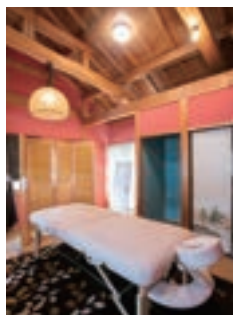


攻めの営業で時代に合わせた 新しい活躍の場を切り開く

●空と虹

船津 絵美さん

こんな事業です!



作業療法士の資格を持つオーナーが、オールハンドで施術する癒しのサロン。完全プライベート空間で、体はもちろん、心の声にも耳を傾けながら一人ひとりに合わせたオーダーメイドの施術を受けることができる。企業や団体向けのセミナーや健康教室なども実施。エリアは広島県内。

住所/安芸高田市吉田町吉田常友292-2F
☎090-5268-9694(完全予約制)
営業時間/9:00~18:00(応相談) 定休日/月水曜
メール/sorato2ji@gmail.com

やりたいことを制限なくできる 時間と場所を求めて創業を決意

作業療法士として、20年以上のキャリアを持つ船津さんは、医療の現場で心身ともに疲弊している医療従事者を数多く見てきました。「そういう人たちを癒してあげたい」と思い、自分の体を癒す術が学べる勉強会に参加。勤めていた医療施設の職員に実践してみると、「サロンをオープンしてほしい」と言われ、心が動きます。それから時間がある時に職員のケアをしたり、副業として施術をしてきましたが、勤めながらの活動は予約を自由に入れられなかったり、満足できる施術ができなかったりとモヤモヤが募る一方。応援してくれる人の後押しもあり、やりたいことに専念できる時間と場所を求めて創業に踏み切りました。

関心が高まる「健康経営」。 働く人たちの健康を後押し

市の起業補助金を活用して、エアコンやベッド、空気清浄機などの備品を購入。費用面で大きな心配はありませんでしたが、一番の課題は顧客の獲得。お客さんを持つだけの受け身の営業ではなく積極的に活動するため、医療機関で勤めていた時から考えていた「健康経営」に着目し

これから創業する人へ



創業したから出会えた方がたくさんいます。こうした縁や繋がりを大切に、どんな時も一人で頑張ろうとし過ぎないこと。誰かに頼る勇気を持つことが長く続けていくコツだと思います。失敗を恐れず、チャレンジ精神を大切にしてください!

ます。健康経営は、従業員の健康づくりにも積極的に取り組んでいる事業者を広島県が「健康経営優良企業」として表彰するなど、今注目されている分野。ただ、チャレンジする企業が増える一方で、具体的な取り組みには多くの企業が苦慮しています。こうした企業のニーズに応えようと動き出そうとした矢先、新型コロナウイルスが流行。一度は中断しましたが、コロナが落ち着いていたタイミングで再び動き始めました。施術、セミナー、健康教室など、個人にも団体・企業にも対応できるサロンとして活躍の場を広げています。

創業2022年



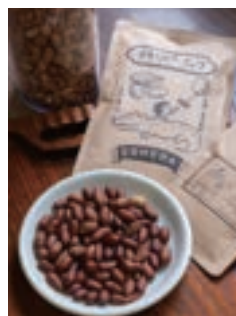
つくり手の顔が見える加工品を。

栽培方法も商品化も理想を形に

●ERMERA (エルメラ)

マイア レオネル ダビッドさん

こんな事業です!



自家栽培したピーナッツを、鉄鍋で丁寧に焙煎した「自家製炒りピーナッツ」を製造・販売。自然農法で育てたピーナッツは、天日干しでゆっくりと乾燥させてうま味を凝縮。塩のみのシンプルな味付けで、素材そのものの美味しさが感じられる。市内道の駅や産直などで販売中。

住所/安芸高田市甲田町下小原262

お問い合わせはメールから(ermEra262@gmail.com)

※イベント出店スケジュールなどは、Instagram(@ermEra_peanuts)で発信中

安芸高田産のピーナッツを 守りたい一心で創業を選択

東ティモール出身のマイアさんは、当時NGOで働いていた奥様の奈津美さんと出会い現地で結婚。お子さんが産まれたのを機に、家族で奥さまの故郷だった安芸高田市に移住しました。地域でピーナッツの栽培に携わっている会社に声をかけてもらい、農業の世界へ。その会社がピーナッツ栽培から撤退することになり、独立を意識するようになりました。次の就職先に他の農業法人を紹介されましたが、「希少な安芸高田市産のピーナッツを守りたい!」という気持ちが日に日に強くなり一念発起。市の起業補助金制度があったことが、創業への大きなバックアップになりました。

創業したから見えてきた ピーナッツの無限の可能性

創業後、ピーナッツ栽培は自然農法にシフト。天日干しして、うま味を増したピーナッツを薄皮ごと鉄鍋で焙煎した「自家製炒りピーナッツ」を商品化しました。「創業は大変なこともあります、自分の理想を叶えられるメリットの方が大きい。栽培方法も加工方法もパッケージも全て想いを形にできます」とマイアさ

これから創業する人へ

起業をする前に「なぜ、それがしたいのか?」を突き詰めて考えてほしい。それがあれば、壁にぶつかった時も、次の新しい展開に挑戦する時もブレずに進むことができるはず。東ティモール出身の私がここまでできた。あなたにもきっとできます。



ん。手作業で丁寧に作られる商品は、健康志向の広がりとともに売り上げを伸ばしています。現在は周知活動の一環としてイベントなどにも出店。マイアさんにとって、消費者の声を直接聞くことができる貴重な時間です。「ピーナッツバターやピーナッツ味噌など様々な加工品にも挑戦していきたい。いろいろな人との縁が繋がっていくことが楽しみの一つです」と意欲を見せます。初期投資を小さく抑え、徐々にその規模を拡大していくのもマイアさんの計画の一つ。その無限の可能性に心を躍らせています。



地域の課題に正面から取り組める やりがいのある事業に出会えた

● ペットフード専門店 元就工房

関岡 伸哉さん

こんな事業です!



安芸高田市で獲れた鹿肉を使ったジャーキーを製造・販売。素材は鹿肉のみで完全無添加。薄づくりのソフトな仕上がりで、子犬や子猫からシニアまで、幅広く食べられる。製造は全て手作業。脂身を取り除いたジャーキーは、健康的なおやつとしても人気。脂身を含んだフレックもある。

住所/安芸高田市高宮町羽佐竹1640

☎050-8885-2930

営業時間/10:00~16:00 定休日/土日曜・祝日

ホームページ/<https://www.motonarikoubou.com/>

生まれ育った故郷に恩返し。
地域貢献に繋がる事業を模索

大学卒業後、一度は安芸高田市を離れUターンで故郷に返ってきた関岡さん。自分の生まれ育った地域に貢献できる仕事があったいと、最初は荒れた山を活用したキャンプ場をオープンしたいと考えていました。具体的な計画を立てていくと、キャンプ場のオープンには膨大な予算がかかることが分かり断念。その際、知り合った猟友会の人の勧めで、安芸高田市ジビエ振興協議会に話を聞きに行ってみることにしました。ジビエブームで食肉としてのジビエは需要があるものの、ペットフードは積極的に展開していないことを知り、ビジネスチャンスを見出します。これまで食用としては使えず破棄されてしまっていた鹿肉を譲り受け、ペットフードの試作をスタート。スライサーで薄くカットすることでソフトな仕上がりになり、幅広い月齢のペットに与えることができるジャーキーが完成しました。

これから地域と生きるために
若い世代にも伝えたい思い

本格的に事業にするために、自宅の一角を改装して工房を作り、機材も導入。一番のネックだった資金は起業補助金で補

これから創業する人へ



自分が一番やって良かったと思うことは、自分がやりたいことを、とにかくたくさんの人に話すこと。その中に必ず応援してくれる人が現れます。発信することで人と人が繋がります。少しずつ道が開けてくるはずですよ。どんどん夢を語ってください!

いました。肉をさばくところから、カット、乾燥、袋詰めまで全て手作業。添加物のニーズにマッチし徐々に人気を集めています。今後はペットサロン、ブリーダーを中心に販路を拡大していく予定です。「安芸高田市は鳥獣被害が深刻です。これから罾や銃の免許を取得して、その対策の一役を担いたいと思っています。それを次の若い世代にも伝えて、一緒に故郷を守る仲間を増やしていきたい」と関岡さん。地域に貢献できていると実感できる仕事に幸せを感じていました。

身近なマーケットで無理なく創業 店舗を持たない新スタイルを確立

● ジョニーベーグル

山縣 正姫子さん

こんな事業です!



体に優しい素材で作るふんわりとしたオリジナルベーグルの専門店。地元産のホウレン草や春菊を練り込んだベーグルや菊芋パウダーを使ったグラノーラなど健康志向の商品を提供する。安芸高田産の大豆を使った餡をくるんだ大豆大福が人気。商品は委託販売のほか、イベントなどでも販売。

※委託販売や即、イベント出店などのお問合せは
Instagram(@johnny_bagel_)のDMからお問合せください

家族のために作ったパンが 友人の間で徐々に人気に

子どもの頃からお菓子作りが好きで、小学校5年生の時には好みのチーズケーキができるまで焼き続け、中学生になるとシュークリームを追及し続けたという山縣さん。趣味でお菓子づくりを続けていましたが、短大卒業後は医療機関に就職。「当時は趣味が仕事になるなんて夢にも思わなかった」と振り返ります。お菓子作り再開のきっかけは子どもたちの存在。安心安全なものを食べさせたい一心でお菓子作りに加えてパン作りも始めました。そのベーグルやお菓子が、友人に、そのまた友人に口コミで広がり、安芸高田市内の美容室などで委託販売をスタート。当初はレンタルキッチンで試験的に製造していましたが手狭になり、安定して効率よく商品を提供するために工房が必要だと考えるようになりました。工房を作るためには、しっかりとした売り上げを確保し、設備投資も必要。工房を構えると共に創業を決意しました。

ライフスタイルに合わせて 実店舗を持たないという選択

創業という実店舗を持つことをイメージする人が多い中、山縣さんが選んだ

これから創業する人へ

子育て中の方は、どうしても家族への負担が心配になると思いますが、まずは自分が無理なく働けるやり方を見つけることが大切だと思います。心配ばかりしても始まりません。家族の理解も得ながら、ゆっくりと一歩ずつ進んで行ってください。



のは店舗を構えずにこれまでの繋がりを拡大していく新しいビジネススタイル。委託販売や即、イベント出店を中心に、これまで支えてくれた人たちを大切にしながら、そこから新たな繋がりを見出しています。現在3人の子育て中ということもあり、時間や場所に拘束されない働き方は、今のライフスタイルにぴったりです。「創業して自分が暮らす安芸高田市の魅力を改めて感じる事ができました。人、食材、場所、イベント、それらを今度自分が発信していく側になりたい」と新しい夢に向かって進み続けています。



得意&好きを仕事にするために 必要な情報収集と学びを継続

● 介護タクシー-Béat (ベア)

山下 慎也さん

こんな事業です!



障害のある方、ケガをした方、高齢の方など、一般タクシーでの送迎が難しい人を対象にしたタクシー。車イスに乗ったまま乗車でき、乗り降りの介助もしてくれる。また病院や買い物の付き添いなどのサポートも充実。家族のような笑顔で迎えてくれるアットホームな雰囲気もうれしい。

住所/安芸高田市甲田町上甲立509-3
☎090-1229-0003(要予約)
営業時間/24時間 定休日/不定休
ホームページ/なし

誰でも住みやすい地域づくり に貢献できる介護タクシーに憧れ

長年、建築業に携わっていた山下さんが、福祉業界に興味を持ったのは同居していた叔父さんの存在。介護が必要だった叔父さんが介護タクシーを利用するようになり、初めてその存在を知りました。「車を運転することが好きで、それが困っている人の力になれるかもしれない」と思った山下さんは、情報収集を開始。運転技術だけでなく、介護や福祉についても学ぶ必要があると考え、介護職員初任者研修にも参加しました。その後、甲田町の特別養護老人ホームに運転手として就職。「職業ドライバーとして安全に運行するためのノウハウだけでなく、利用者との関わり方や接し方なども身に付けることができました」と話します。創業のきっかけは、介護タクシーの開業支援をしている人との出会い。具体的な話を聞いていくうちに、どんどん創業が身近なものになっていきました。

その存在を知ってもらうことが 今後の課題。新しいステージへ

創業へ動きだした山下さんは、営業許可の取得に必要な書類を自ら作成。介護車両の購入などに必要な資金は商工会に

これから創業する人へ



創業にはある程度の勢いも必要ですが、それだけでは成功しません。しっかりとした下調べ、専門機関や専門家からの情報収集など、創業前にどれだけ多くの情報をもっているかがカギになります。損をしないためにも、準備は念入りに行ってください。

相談し、創業計画や資金計画を作成して日本政策公庫で融資を受けました。「初期投資が大きい仕事。融資や補助金がなければ、創業できませんでした」と話します。今後の課題は、周知活動。チラシの作成やSNSでの発信にも力を注いでいます。「旅行やレジャーなど、幅広い使い方ができることを知ってほしい。車イスでもストレッチャーでもどこでも行けます」と山下さん。さらに、広島市消防局が認定する配送事業「民間救急」の指定を受けるため、広島営業所の開設、車とスタッフの確保を目指しています。

創業にかかる費用を最小限に抑え 無理なく将来の業務拡大を目指す

●Auto up 土橋 直人さん

こんな事業です！



車のへこみや擦り傷などを修理してくれる钣金塗装店。ずっときれいに乗ってもらうために安全面にも配慮し、修理箇所だけでなくブレーキやオイルなど細かな所までチェックしてくれる丁寧な仕事が魅力。オーナー想いの細やかな心配りがうれしい。土橋さんは八千代神楽団でも活躍中。

住所／安芸高田市八千代町上根1419

☎090-3635-5038

営業時間／9:00～18:00 定休日／不定休

ホームページ／なし

5年間で高い技術と知識を習得 資金面の不安解消が後押しに

父が自営業だったこともあり、専門学校在学中から創業への憧れを抱いていたという土橋さん。卒業後は、凄腕の技術者が多く在籍する自動車整備会社に就職。動かなくなった車を新車のように復元させる「レストア部門」に配属され、先輩たちから高度な技術を広く学びました。5年間経験を積んで独立への足掛かりを掴んだ土橋さんは、情報収集をするために市内の同業者数社を訪問。地域や業界の話聞く中で「独立するのなら若い時にした方がいい」という言葉が心に刺さり

ます。すぐに商工会を訪問すると創業時に使える市の補助金があることを知り、夢が現実へと大きく動き出しました。

初期投資を抑え、まずは 着実に歩みを進める一歩から

その後は、創業セミナーにも参加。事業計画書の作り方や創業に必要な心構えなどについて学び、具体的なプラン作りを始めました。まず決めたのは「予算」。補助金、自己資金など、準備できるお金と予算を照らし合わせ、それに合わせた無理のない初期投資をすることで金銭的な不安を取り除いていきました。創業当初

これから創業する人へ

創業する時に、一番後押しになったのは、これまで培ってきた知識と経験でした。今、経験が積める場所があるなら、納得がいくまでとことんやった方がいい。それが自信に繋がって、創業への一歩が踏み出せるはず。がむしゃらに頑張ってください！



は今ある設備でできる钣金を中心に受注していましたが、今年度、小規模事業者持続化補助金の採択を受け、塗装用設備を導入。着実に業務範囲を拡大しています。「前の職場は自分ではなく会社を信頼して依頼する人がほとんど。今は自分の看板でお店に来てもらえることがすごく嬉しい」と話します。これからも技術革新が著しい自動車業界の中で、新しい情報や技術にアンテナを張りながら必要な設備を導入していく予定です。「将来的には車のことなら何でも任せられる存在になりたい」と話してくれました。



創業は夢を叶えるための途中経過

その先まで思い描いた計画を

● okadasasa (オカダササ)

佐々田 直貴さん

こんな事業です!



築90年の趣ある古民家を改装したカフェ。一面ガラス張りの窓からは、のどかな里山の風景を一望できる。メニューは高宮の熟成鶏を石で焼いたグリルやパスタが中心。コーヒーにもこだわりがあり、石で丁寧に焙煎した深みのあるオリジナルブレンドを提供する。自家製スイーツも人気。

住所/安芸高田市高宮町原田1402-2
TEL/080-2597-1265
営業時間/11:00~20:00 定休日/木曜
ホームページ/https://okadasasa.lsv.jp/

創業を決定してから5年 丁寧なコンセプトづくりを実行

佐々田さんは、東京や広島島の飲食店で経験を積み、Uターンで安芸高田市に帰郷。「TSタカタサーキット」で働き始めました。7年間務める中で、改めて飲食業の面白さを実感。勤め先は県外からもお客様が訪れる人気のスポットでしたが、周辺に立ち寄れる飲食店が少ないことも気になっていました。「少ないなら自分で作ろう!」と思ったのが創業のきっかけ。創業への第一歩は、綿密な計画を練ることから始まりました。「どんなお店にするのか」「場所は?」「建物は?」「メニューは?」など、考える上で大切にしたのは、「自分も楽しいと感じられるお店であるか」として「賑わいのある街の一部として機能している様子が想像できるか」。じっくり考え抜くこと5年。方向性がしっかりと決まったタイミングで、いよいよ動き出します。

理想のお店づくりへ一歩前進 地域の賑わいに貢献できる店へ

事前の計画をしっかりと立てたことで、物件探しや補助金申請などの創業準備は比較的スムーズに進みました。宣伝ツールはHPのみでしたが、オープンすると

これから創業する人へ



ひとつ言えることは、オープンがゴールではないということ。オープン後の展開までしっかりとイメージして準備を進めていくことが大切です。やりたいことだけでなく、今できることを掘り下げていくことで、あなた自身のキャリアも活かせると思います。

訪れた人たちがSNSに投稿し、クチコミで人気が拡大。想像以上に多くのお客様が来店しています。ひとつ悔やまれるのは、経理など本業以外の部分の仕組みづくりを行っていなかったこと。「経理や税務関係の知識を、オープン前に勉強しておけばよかった。創業すると料理や接客などの本業で手いっぱい、想像以上に時間がないことが分かりました」と佐々田さん。お店は順調で、市外からの観光客も訪れるようになりました。「少しずつですが、思い描いたお店に近づいていると感じています」と笑顔を見せます。

創業しよう!

安芸高田市で創業を目指すあなたを強力にサポートする機関と支援内容をご紹介します。
創業の第一歩は知ることからスタート!

まずはここから!

1. 創業相談窓口

「創業って何から始めたらいいの?」。そんな悩みを安芸高田市商工会の経験豊富な経営指導員が、まるっとお聞きします。身近な相談相手、パートナーとしてお気軽にご相談ください。



本所	安芸高田市吉田町吉田979-2	月～金曜日	0826-42-0560
甲田支所	甲田町高田原1463-1	水曜のみ	0826-45-2054
向原支所	向原町坂185-3	金曜のみ	0826-46-2227
高宮支所	高宮町佐々部983-2	木曜のみ	0826-57-0296
美土里支所	美土里町本郷1775	火曜のみ	0826-54-0109
八千代支所	八千代町佐々井1367	水曜のみ	0826-52-2542

相談対応時間
9:00～17:00
事前にお電話で
ご予約して
お越しくささい

創業の準備を始めよう!

2. 特定創業支援

創業を予定している人が「経営」、「財務」、「人材育成」、「販路開拓」の知識を習得するため、市が指定する創業支援機関が支援を行います。

創業支援機関はこちら

安芸高田市、安芸高田市商工会、(公財)ひろしま産業振興機構、
(株)広島銀行、(株)もみじ銀行、広島市信用組合、(株)日本政策金融公庫

創業支援機関が実施する個別相談やセミナー等を受講(1か月以上かつ4回以上)すると、上記4つの知識を習得したと証明されます。受講した創業予定者は、登記する際にかかる登録免許税の軽減や信用保証額の拡大等の支援を受けることができます。

SUPPORT

特定創業支援を受けるメリット

1. 登録免許税の軽減

- 株式会社又は合同会社は、資本金の0.7%の登録免許税が0.35%に軽減
※株式会社の最低税額15万円の場合は7.5万円
合同会社の最低税額6万円の場合は3万円の軽減
- 合名会社又は合資会社は、1件につき6万円の登録免許税が3万円に軽減されます。

2. 創業関連保証の特例

- 創業関連保証を、事業を開始する6か月前から利用することができます。

3. 日本政策金融公庫新創業融資制度の自己資金要件充足

- 新創業融資制度の自己資金要件を満たしたものとして、利用することが可能です。
※創業前又は創業後税務申告を2期終えていない事業者が対象となります。

4. 日本政策金融公庫新規開業支援資金の貸付利率の引き下げ

- 新規開業支援資金の貸付利率の引き下げの対象として、同資金を利用することができます。
- 創業関連保証の特定融資を受ける際、創業2か月前から対象となる創業関連保証の特例について、事業を開始する6か月前から利用の対象になります。

5. 安芸高田市起業補助金

補助対象経費はこちら

建物改修費	建物を改修した経費 ※100万円を上限に1回限り(補助対象経費の2分の1以内) ※市外に住所があり、新たに市内に事業所を構える場合は上限50万円。
設備費	備品及び機械設備に係る経費 ※100万円を上限に1回限り(補助対象経費の2分の1以内) ※市外に住所があり、新たに市内に事業所を構える場合は上限50万円。
その他経費	事業計画の作成等起業に必要な事務処理に要する経費 ※10万円を上限に1回限り(補助対象経費の2分の1以内)
賃借費及び通信費	家賃及び光回線工事、光回線(あじさいネット)に係る通信料 ※最初の交付決定を受けた年度から起算して3年間に限り各年度上限30万円(補助対象経費の2分の1以内)

ここに注目!



※交付決定前に改修、購入等したのものについては、補助対象外となります。

01

創業1921年

株式会社 大前醤油本店

代が変わるごとに進化を遂げる 老舗醤油蔵が目指すもの

時代の変化とともに ニーズに合った商品開発

2018年4代目の浩介さんが受け継いだ大前醤油本店は、曾祖父の代から続く創業100年を超える老舗。丁寧な醤油づくりで地域の食卓を支えてきました。創業時から昭和にかけては大家族が主流で、一家族が一度に1・8ℓ入りのボトルを10本オーダーする時代。個人宅にお伺いを立てて配達するのが一般的で、ダイハツのオート三輪にまたがり地域を忙しく駆け巡っていました。しかし、昭和



受け継いだ人

大前 浩介さん

Profile

城北高校から大東文化大学法学部政治学科に進学。卒業後はアルバイトをしながら、音楽でプロの道を目指す。2003年に帰郷し2018年に3代目に就任。新商品開発でヒットを飛ばす。

60年代を境に、核家族化、食事が欧米化などの影響から醤油の需要が減少。当時、3代目として会社を任されていた直行さんは、醤油に加えて時代のニーズに合った新しい商品が必要だと考えるようになりました。直行さんは大学での学びを活かして、**出汁醤油やポン酢、ドレッシングなど醤油をベースにした新しい商品の開発を始めます。試作を幾度も繰り返しながら、頭の中のアイデアを具現化。昭和40年に徳島の柚子を使った柚子ポン酢が誕生したのを皮切りに、**

業を継ぐ気はなく、いつか戻れば良いという軽い気持ちでした。偶然その電話を隣で聞いていた彼女、今の妻の「帰ろう」の一言で、仕方なく戻ったのを覚えてい「ます」と浩介さん。洩々戻った浩介さんの仕事は、自社の商品を理解し、お客様を知ることからスタート。県



昭和の時代に活躍したダイハツのオート三輪。顧客宅を1軒、1軒回って配達していました。新しい取り組みに挑戦している今も、配達は続いています

様々な新商品を世に送り出してきました。新商品の評判も上々で売り上げを伸ばす中、要の醤油は停滞の一端をたどっていました。**やる気のない4代目が目の当たりにした厳しさ**

その頃、息子の浩介さんは東京の大学を卒業後、就職もせずにブローを目指して音楽に明け暮れる毎日。そんな孫を見かねた祖父が、地元に戻るように毎日電話をかけていたと言います。「当時は本気で家業を継ぐ気はなく、将来的に厳しいだろう」と感じながらも、心境に何も変化がないまま2018年に事業承継することになります。

こんな事業です!

大正10年創業。創業100年を超える老舗の醤油蔵。創業当初から水を大切にした醤油づくりにこだわり、現在も大土山から流れ出るミネラル豊富な天然水を使用する。製造する醤油の特徴は西日本特有の甘さに加え、うま味も重視。独自の配合で調味料と組み合わせオリジナルの醤油を作り上げている。



核家族化やお土産需要など現代ニーズにぴったりとマッチした100mlのミニボトル。美味しいうちに使い切れると評判です。商品名は直行さんのアイデア



自分が本気になった時 必要な環境、人が揃った

「深刻になりすぎてでもいいけない」と思いながらも、浩介さんの危機感は募るばかり。いい方法が思いつかずにいた2021年、大前醤油はコロナ禍で100周年を迎えることになりました。その時、浩介さんは「100年続けてこられたのは地域の方々のおかげだ」と初めて実感。状況を俯瞰で見ることができた瞬間、同時に仕事への

熱意がこみ上げてきました。「地域

への恩返しは、「雇用」を生み出すことだと思いました。そのために体制を整え、売り上げを伸ばす必要がありました。得意先に直接醤油を届ける今のビジネスモデルでは無理だと感じました」と話します。これまでのB to CからB to Bへの販路を開拓すべく、頼りにしたのは商工会。サポートを受けながら問屋の開拓や展示会参加など、積極的な活動を続けました。

また、これまでニーズがないと考えていたミニボトルでの販売にもチャレンジ。これが時代のニーズにぴたりとはまり、ヒットとなります。「経営者が本気になっていないのに、誰もサポートしようと思いませんよね。自分がしっかりと前を向いて歩き出した時、初め

て必要な繋がりが見えてきました」と浩介さんは話します。

新しい販路を開拓して 安定した雇用を創出

販路拡大のほか、先代の代には着手することがなかったOEMにも挑戦。自社商品、他社商品にとらわれず、依頼があればがむしゃらに試作を繰り返して商品化を目指しました。こうして誕生したのが安芸太田町の特産品「祇園坊」という柿を使ったドレッシングやソース、川根ゆずを使った柚子ポン酢、三次ワイナリーの焼肉のタレなど。

こうした商品の開発には、父・直行さんの技術が存分に活かされていたのです。また、大量の在庫を抱えずに済むように最少ロットでオーダーできるように配慮。実績を重ね、様々なお店、企業から問合せが続いています。「スキルを求めず、一生懸命仕事をしていただく方をたくさん雇用して、一緒に楽しいことにチャレンジしていきたい。そのためにも会社の規模を大きくして、地域のお役に立ちたいです」と話す浩介さんの目に

もう迷いはありませんでした。

託した人 大前直行さん



Profile

学生の頃から3代目を意識して東京農業大学醸造科に進学。商品開発に必要な知識や技術を習得する。商品開発したゆずポン酢は、今もなお人気を誇るロングセラー。現在も現役で現場に立つ

引き継ぐ時期を明確にして スムーズな事業承継を実現

受け継いだ人

中浦 正雄 さん



Profile

安芸高田市出身。崇徳高校卒業後、長崎総合科学大学に進学。大阪の輸入雑貨商社に就職し、広島百貨店に配属される。叔父の慎二さんの声かけで、佐々木電機に転職。

若くして事業を継承 生き残りをかけた大勝負

1950年に創業した佐々木電機は家電の販売だけでなく、地域の方の困りごとに応える何でも屋さん。水回りなどのリフォームやオール電化、害獣対策のための策の設置など、土木、水道、建築など多岐に渡るサービスを提供しています。「佐々木さんの所に行ったら何でもしてくれると言ってくれらお客さまの声に答えたくて、頼まれたことは何でもやってきました(笑)」と話すのは2代目の佐々

木慎二さん。7割以上が町内のお客さまで、2代、3代に渡って利用する人も多いい言います。創業当

初から顧客の依頼に真摯に、そして丁寧に向き合うことで実績を築き、信頼を得て地域の唯一無二の存在へと成長してきました。2代目の慎二さんが先代から事業を受け継いだのは39歳の時。大手の量販店が市内に進出し、町の電気屋としての売上が減少している時でした。慎二さんは、生き残りをかけてエディオンのフランチャイズに加入し、旧道沿いだった店舗を

県道沿いに移転。借金をすることになりましたが、若さも元気もあったからできた決断でした」と振り返ります。

渡す方も引き継ぐ方も 若くて元気なうちに

そんな慎二さんは、60歳になったら甥の中浦正雄さんに事業を承継すると心に決めていました。「周りには、まだ若いになぜ？体調が悪いの？とよく聞かれました。借金返済の目的が立つのが60歳だったこと、そして

も質問ができる環境であることなど、多くのメリットがあると考え、この道を選択。社長と専務として20年間一緒に働いてきた正雄さんも、「いつか自分が継ぐんだ」という高い志を持って、仕事に取り組みめたと言います。具体的に話が進み始めたのは、事業を承継する1年ほど前のこと。商工会を訪れ具体的な手順を確認し、税理士や公認会計士などの専門家とともに準備を進めました。

何よりも渡す方も受け継ぐ方も元気で体力があるうちに引き継ぎたかった」と話します。急なハプニングで慌てて事業を継承するよりも、準備をしっかりとしながら引き継ぎの期間を長くとれること、計画的に進めることが、正雄さんがいつで



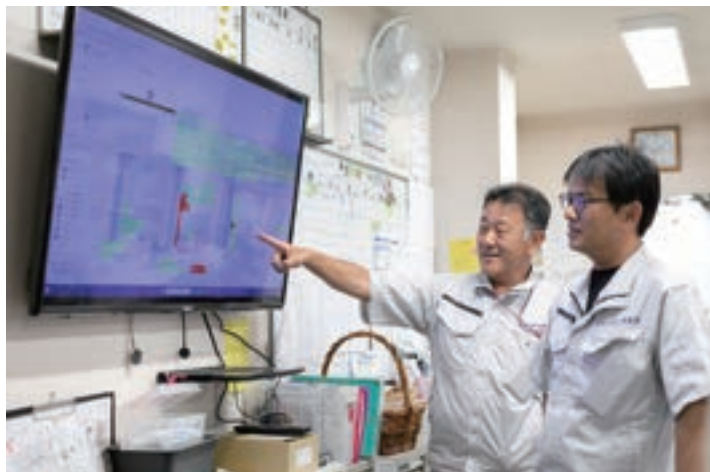
資格を取得し、現場でユンボを使いこなす正雄さん。屋外での作業もお手の物。町の電気屋さんの域を超えた、幅広いニーズに応えています

こんな事業です!



エディオンのフランチャイズとして、家電などを販売する町の電気屋さん。創業当初からそれだけにとどまらず、リフォーム、鳥獣対策用の柵の設置など、広がるニーズに応じて新しいサービスを提供し続けている。決して「できない」とは言わない、地域の人々のライフラインを担う頼れる存在。

モニターには、誰がどの現場にいついるのかが分かるスケジュールが映し出されています。情報を共有できるようになり、業務がスムーズになりました



一人ひとり向き合い大切に作る心も継承

一方、正雄さんも決算書の見方を学ぶセミナーに参加したり、HPをリニューアルしたりしながら着々と準備を進めてきました。こうして、2020年無事に事業を継承。現在は慎二さんが正雄さんをサポートしながら、以前と変わらぬメンバーで業務にあたっています。正雄さんは、事業承継する前から法人会や商工会青年部に所

属したり、消防団に入ったり、様々な活動を通して、事業を守る責任

感みたいなのが生まれていました。

心の準備がしっかりとできていた

ので、安心して引き継ぐことができました

と話します。これからの目標は、これまで先代が築

き上げてきた信頼をこれから先も

ずっと守っていくこと。人口が減

り、高齢化が進む中、量販店との

差別化を図るにはこの道しかない

と考えています。「時代の変化と

もに変わっていく

ニーズにも応える

ためには、法改正

の勉強や新しい資

格の取得が不可欠

な依頼があれば、新

しいことにも積極

的にチャレンジし

ていきたい」と前

を向きます。仕事

柄、急な案件が多

く、とにかく一日

が目まぐるしく過

ぎていく正雄さん。

それでも、一人ひ

とりのお客さまと向き合うことを

大切にしたい」と創業以来大切に

してきた想いまでも、しっかりと

受け継いでいました。

守るもの、進化するもの

その両方を大切に

正雄さんが代表取締役になって、

新たに取り組んだことがあります。

それは社内業務のDX(デジタル

トランスフォーメーション)化。D

Xとは、アナログ業務をデジタル

技術を使って効率化、スマート化

していくというもの。正雄さんは

社員のスケジュールが共有できる

システムを導入し、現場の場所や

進捗を確認できるようにしました。

状況の把握がすぐにでき、業務の

効率化に繋がっています。今後も

さらなるDX化を進めていく予定。

こうした取り組みを慎二さんも頼

もしく感じていきます。「お客さまの

ニーズに応えるために、私たちが

アップデートしていく必要があります。

移り変わるニーズに敏感に

反応しながら、高齢者の方、若いフ

ァミリー層、どんな方にも頼られ

る電気屋をこれからも目指してい

きます」と正雄さんは話しました。

託した人 佐々木慎二さん



Profile

安芸高田市出身。呉工業高等専門学校電気科に進学し、広島大学の工学部に編入。卒業後は広島FMに就職し3年後、家業の佐々木電機に就職。平成9年に社長に就任し、会社を任される。

事業承継しよう!

事業承継をスムーズに進めるためには、税のこと、補助金のこと、保証のこと、後継者のこと、課題がたくさん。

まずは商工会や身近な支援機関に相談し、その一步を踏み出しましょう!

相談窓口・情報提供

まずはここから!

まずは身近な窓口で相談するのが第1歩。

安芸高田市では、「安芸高田市事業承継ネットワーク会議」を設立し、オール安芸高田で事業承継を応援しています。

事業承継相談窓口 ▶ 安芸高田市商工会

個別相談会

毎月第3火曜日は、事業承継個別相談会を実施しています。

広島県事業承継引継ぎ支援センターのコーディネーターが相談に対応します。

場所 安芸高田市商工会

専門家派遣

事業承継を適切に実施するために、専門家を無料で派遣します。

専門家の一例

- 弁護士 ● 司法書士 ● 公認会計士 ● 税理士
- 行政書士 ● 中小企業診断士 など

その他の相談機関

行政

安芸高田市
産業部 商工観光課

金融機関

広島銀行 吉田支店
もみじ銀行 吉田支店
広島市信用組合 吉田支店
日本政策金融公庫広島支店 国民生活事業

その他

中国税理士会
広島県北部支部
吉田部会

補助金

M&A時の専門家活用費用や事業承継・引継ぎ後の設備投資や販路開拓、専門家活用費用、設備廃棄費用等を支援します。

1. 経営革新事業 補助率1/2~2/3 補助上限600万円

事業承継、M&A後の経営革新(設備投資・販路開拓等)に係る費用を補助

- ① 創業支援型→他の事業者が保有している経営資源を引き継いで創業する場合
- ② 経営者交代型→親族内承継等により経営資源を引き継ぐ場合(予定も含む)
- ③ M&A型→M&A(株式譲渡、事業譲渡等)により経営資源を引き継いだ場合

2. 専門家活用事業 補助率1/2~2/3 補助上限600万円

M&A時の専門家活用に係る費用を補助

- ① 買い手支援型→M&Aに伴い経営資源を譲り受ける予定の中小企業等
- ② 売り手支援型→M&Aに伴い自社が有する経営資源を譲り渡す予定の中小企業等

3. 廃業・再チャレンジ事業 補助率1/2~2/3 補助上限150万円

① 事業承継・M&Aに伴う廃業に係る費用補助

※事業承継・M&Aに伴って一部事業の廃業を行う場合

※M&Aが成約せずに廃業せざるを得ず、再チャレンジに取り組もうとする場合等



SUPPORT

事業承継を円滑にする税務対策

事業承継では、後継者が経営者から自社株式や事業用資産を取得することに伴い、贈与税や相続税が発生する場合があります。これらの納税猶予や免除制度などを活用して、スムーズな事業承継を支援します。

1. 事業承継税制

後継者が相続や贈与によって取得した自社株式等について、後継者の事業継続などを要件として相続税・贈与税の納税が猶予・免除されます。また子や親族に限らず、親族外承継においても適用できます。

事業承継税制を適用すれば自社株式にかかる相続税の80%を猶予

2. 贈与税の暦年課税 年間110万円までの贈与が非課税

3. 相続時精算課税制度

特別控除額2,500万円を超える部分について、20%の贈与税を、将来の相続財産に合算して相続税を計算

4. 小規模宅地等の特例

宅地等を相続した場合、相続税の課税価格から50～80%の割合を減額

5. 死亡退職金に対する相続税の非課税枠(500万円×法定相続人)

退職金は通常、所得税が課税されますが、経営者が死亡して3年以内に至急確定した退職は相続財産とみなされ、税負担の軽減につながります。

6. 死亡保険金に対する相続税の非課税枠(500万円×法定相続人)

一定の死亡保険金は相続税の対象となり、税負担の軽減につながります。

事業承継を円滑に進めるための税務対策を詳しく知りたい方は、

こちらをチェック

中小企業庁 経営者のための事業承継マニュアル

<https://www.chusho.meti.go.jp/zaimu/shoukei/2017/170410shoukei.htm>

国税庁

<https://www.nta.go.jp/publication/pamph/jigyo-shokei/index.htm>

金融支援

事業承継に伴う納税資金や、承継後の安定経営のためには、様々なお金が必要となります。事業承継に係る各種金融支援を紹介、斡旋します。

1. 融資

事業承継・集約・活性化支援資金

融資限度額

別枠7,200万円(うち運転資金4,800万円)

返済期間

設備資金

20年以内(うち据置期間2年以内)

運転資金

7年以内。ただし、既往の公庫融資の借換を含む場合、8年以内(うち据置期間2年以内)

2. 保証

事業承継特別保証

事業承継サポート保証

経営承継関連保証

特定経営承継関連保証

経営承継準備関連保証

特定経営承継準備関連保証

経営承継借換関連保証

保証限度額 2億8,000万円以内



詳しくは…

全国信用保証協会連合会HP

<https://www.zensinhoren.or.jp/model-case/shokei/>

事業承継
マッチング

安芸高田市商工会では、事業承継マッチングプラットフォーム「relay」(リレイ)を運営する株式会社ライトライトと連携協定を結び、後継者探しをお手伝いします。



安芸高田市商工会



事業承継をオープンに。
relay
リレイ

商工会活用術

商工会では、創業・事業承継後も、経営、経理、税務、労務、販路拡大、補助金など幅広く支援を行っています。
困ったときは、すぐに商工会へGO。商工会は経営のパートナーです。

商工会の支援メニュー

経営相談

経験豊富なスタッフが経営の不安や悩みにお答えします。昨年も600社を超える事業所が相談しました。相談方法は窓口のほか、訪問対応も可能。相談無料で秘密厳守。販路拡大や経営改善など、何でもご相談ください。



金融支援

商工会では融資制度「マル経融資(無担保・無保証・低金利)」で、お金の悩みもズバッと解決。経営をより安定、向上させるために、金融や信用保証に関する相談・斡旋も行っています。毎年多くの事業所が活用しています。

補助金支援

国や自治体では、中小企業や小規模事業者を対象とした各種補助金事業を行っています。商工会では、こうした支援事業を活用して持続的な経営を図ろうとする会員事業所に対して、補助金申請のサポートを行っています。「店舗を改装してターゲット層を広げたい!」「チラシを作ってお店をPRしたい!」「新しい機械を導入して取引先を増やしたい!」など、意欲あふれる事業者を支援しています。



補助金には
こんなものがあります

- 小規模事業者 持続化補助金 (最大200万円)
- ものづくり補助金 (最大5,000万円)
- 事業再構築補助金 (最大1億5,000万円)

難しい経理も
専門スタッフが
丁寧に指導

税務支援

税務・経理の相談から、簿記や記帳方法、届出や申告など幅広くサポート。経理ソフトの使い方もOK。

こんなサポートが受けられます

- 確定申告サポート
- 各種届出サポート
- インボイス電子帳簿保存法
- 源泉徴収税申告
- 商工会の経理ソフト「MA-1」の活用
- 記帳代行

専門家派遣

税理士、社会保険労務士、弁護士などの士業のほか、デザイナーや各種コンサルタントなど、その道に精通した専門家を最大6回まで無料で派遣します。

相談の一例

- チラシ・POPづくり
- 商品開発・販路開拓
- 雇用・労務
- 事業承継
- 海外展開
- 商標登録
- 食品表示
- 売上・収益の改善

など

安芸高田市
商工会
オリジナル!

人材育成

従業員の資格取得や技能習得に必要な研修費用の一部を助成し、人材育成をサポートしています。

福利厚生

経営者や従業員の退職制度、倒産防止制度、健康診断助成などの福利厚生に関する国の共済等に参加できます。

労務支援

従業員を一人でも雇用すると加入しなければならないのが労働保険。「聞いたことはあるけれど、よく分からない」。そんな人のために、労務に関する様々なサポートを行っています。わずらわしい労働保険の手続きを商工会に委託して、本業に専念することができます。

こんなサポートが受けられます

- 労働保険の申告代行
- 雇用保険手続き
- 社会保険サポート
- 労働環境整備
- 業務改善助成金
- 育児休業取得相談
- 労災報告

販路拡大支援

新しい販路を開拓したい!そんな事業所の強い味方。商品開発から流通までの戦略策定、東京などで開催される展示見本市への出展支援、取引先や連携先の紹介など、幅広いコンテンツで販路拡大をサポートします。



事業所交流

企業間ネットワークづくりもおまかせ。異業種交流会や新年互礼会、若手経営者や女性経営者等の交流事業をはじめ、視察や各種セミナーなどの研修事業も充実。またBBQやカーブ観戦ツアーなどのイベント交流もあり、新たなビジネスチャンスが生まれる交流がたくさんあります。



ナーなどの研修事業も充実。またBBQやカーブ観戦ツアーなどのイベント交流もあり、新たなビジネスチャンスが生まれる交流がたくさんあります。

広島市の北に隣接し、街と自然がほどよく共存する安芸高田市。

暮らしやすさはもちろんのこと、

美味しい農作物や美しい光景を生み出す豊かな自然も魅力です。

あなたがやりたいことは何ですか？ ここでならきっとあなたの夢が叶います。

発行／編集 安芸高田市商工会

令和5年度伴走型小規模事業者支援推進事業



HP



LINE



Instagram



X (旧Twitter)



FB